

全国の高校で実現可能な遠隔授業 ～平成27年4月の規制改革と今後への展望～

平成29年9月15日
慶應義塾大学 S F C 研究所
プラットフォームデザインラボ

慶應義塾大学SFC研究所プラットフォームデザインラボ「遠隔授業」研究の歴史

慶應義塾大学SFC研究所 プラットフォームデザインラボ

● “遠隔授業は、高い品質の授業を地理的差異無く学生へ届ける手段である”

- 代表：國領二郎
- 遠隔授業研究WG：梅嶋真樹

- 1990年代：慶大がISDN回線を用いた遠隔授業実証を開始
 - 社会人向け講座・大学授業での開始、アジア各国との授業共有での実践が進む
- 2001年：文科省が大学での「同時・双方向型」遠隔授業を解禁。詳細は平成13年文部科学省告示第51号参照
- 2008年：慶大が「同時・集合型」遠隔授業の高校実証開始
- 2009年：慶大・長崎県「研究・教育活動の推進と地域振興に関する連携協力協定を発効
- 2012年：慶大が遠隔授業の制度に関する研究を本格化
- 2015年3月：慶大はシンポジウムを開催し、当ラボ代表國領二郎、Microsoftジャンフィリップ、クルトワMicrosoftインターナショナル プレジデント、遠藤利明 衆議院議員・教育における情報通信の利活用促進をめざす議員連盟 会長との間でICTがもたらす教育イノベーションを議論
- 2015年4月：文科省が学校教育法施行規則を改正し、「同期・集合型」遠隔授業の高校実施を解禁。詳細は、学校教育法施行規則の一部を改正する省令等の施行について・通知（平成27年文科初第289号参照
- 2015年4月：文科省初等中等教育局が高校での遠隔授業手法の確立を目的に「多様な学習を支援する高等学校の推進事業」開始
- 2015年4月：慶大とMicrosoftは、汎用性の高いソフトウェアを用いた高校向け遠隔授業モデルの研究と全国の高校への導入方法紹介を目的とした共同研究を開始
- 2016年10月：慶大は、平成28年度文科省全国高等学校教育改革研究協議会においてその遠隔授業のシステム設計と運用ノウハウを全国都道府県の教育委員会へ無償公開
- 2017年6月：閣議決定された「規制改革実施計画」は、応答学校、遠隔授業の速やかな普及を支援する戦略策定の加速を表明

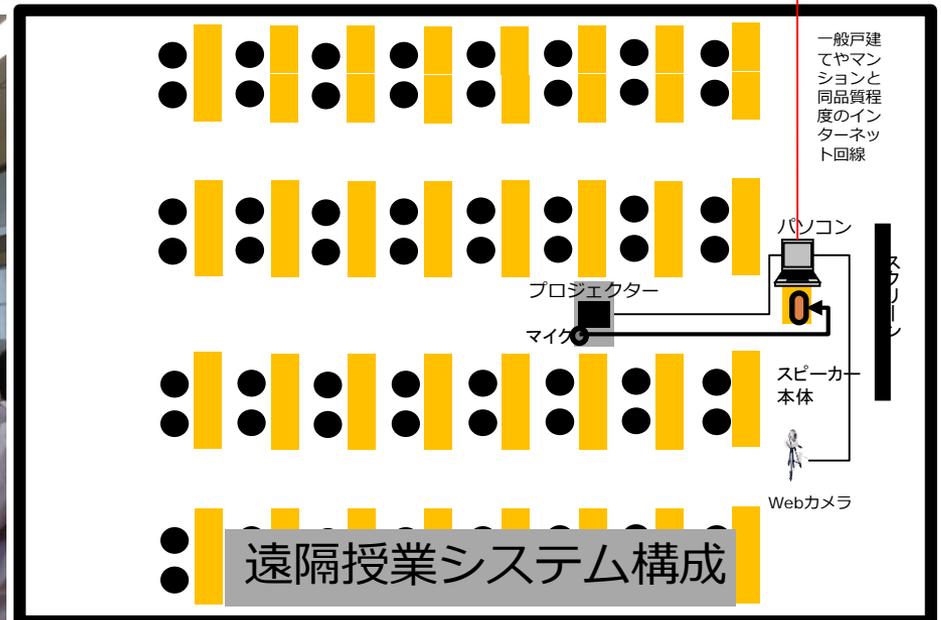
慶應義塾大学SFC研究所プラットフォームデザインラボの実績

- 平成27年4月の高校の遠隔授業解禁は、先生も生徒も同じ時間に授業を行う同時双方向型が対象です。1) 都心のスタジオから全国の教室へ一斉配信するような遠隔授業、2) 録画された授業を学生が一斉視聴するような遠隔授業は、行われてはいません
- 同時双方向型の遠隔授業に関して慶應義塾大学SFC研究所が「技術検証」「経済性検証」「教育効果検証」を終えた遠隔授業手法を公開。遠隔授業の導入検討が進む
 - 慶應義塾大学SFC研究所は、既に学校に有る設備を最大限活用して各教室10万円程度の新規投資で実現可能な遠隔授業システムの運用に成功。学校現場主導のモデルスタートが可能
- 目下の課題は、授業前後の準備の為の先生や生徒の作業量を(対面授業並に)削減する
 - 対面授業と比較すると、まだ、ネットワークの教室への引込、機器設定、接続確認など授業前に行うことは多い。この作業量削減が普及のカギ

インターネット：最近、中小企業向けにセキュリティ支援付サービスが普及



遠隔授業教室全景



遠隔授業の著作権検討をする上で、3つの原則を提案させていただきます

● 第一原則

- 遠隔授業の手法の違いで著作権の扱いの差異を創らない

● 第二原則

- 良い物を作った著作者には正当な対価・報酬があるべきである

● 第三原則

- 教育の機会均等の精神にてらして、生徒・保護者の負担をゼロないしは極少にすべき

遠隔授業の手法の違いで著作権の扱いが異なる場合、学校負担を増やす

- 遠隔授業においては「遠隔合同授業」と「同時双方向型の遠隔授業」という2つのモデル間で著作権の利用形態に差異はありません。しかし、著作権法上の扱いが異なります
- 扱いの差異を無くすことが教育現場の負担を軽減します

	遠隔合同授業	同時双方向型の遠隔授業 (平成27年4月に解禁)
教員の各教室への配置	教員が配置。 但し、教科担任が配置	教員が配置。 但し、配信元に教科担任が配置されるので、教科担任以外の教員の配置でも可(例えば、校長や学級担任など)
生徒等（配信側）	生徒が居る	生徒が居ない
著作物の利用形態	同時・異時（公衆送信） ※異時は予習復習等	同時・異時（公衆送信） ※異時は予習復習等
著作権法上の扱い →以下は文化審議会著作権分科会報告書の結論	原則許諾不要無償（35条2項）	原則許諾必要 →原則許諾不要・補償金設定